

**MASTER VIEW MAX
SLIDEAWAY™
CONSOLE**

masterview™ MAX

slideaway™ LCD ドロワー

CL-1200 ユーザーマニュアル



注意

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。



同梱品

基本パッケージ

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

- ◆ GL-1200 LCD 一体型 KVM ドロワー × 1
- ◆ カスタム KVM ケーブル (2L-5202P) × 1
- ◆ 電源ケーブル × 1
- ◆ ユーザーマニュアル (本書) × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1
- ◆ イージーセットアップ ラックマウントキット (ユーザー選択、ショート or ロング) × 1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡下さい。

本装置と接続されたデバイスの破損を防ぐために、本ユーザーマニュアルをご使用前によくお読みになり、正しい手順に従って設置し、ご使用ください。

© Copyright 2005 ATEN® International Co., Ltd.
Manual Part No.PAPE-0251-101G
Printed in Taiwan 11/2005

製品名等は、各社の商標または登録商標です。

目次

第 1 章 はじめに	7
製品概要	7
製品特長	8
必要ハードウェア環境	9
コンピュータ	9
ケーブル	9
製品各部説明	10
CL-1200 フロントビュー	10
CL-1200 リアビュー	12
第 2 章 ハードウェア セットアップ	13
セットアップの前に	13
第 3 章 基本操作	15
コンソールの引き出し	15
コンソールの収納	16
LCD OSD 設定	17
LCD ボタン	17
LCD 調整	18
コンソール選択	19
ポート ID 番号およびポート選択	19
付録	20
ラックマウント	20
製品仕様	23
トラブルシューティング	23
製品保証規定	24

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは CL-1200 に関する情報や使用法について説明しており、取付け配置方法、および操作方法の全てを提供しています。マニュアルの構成については下記をご参照下さい。

第1章 はじめに: CL-1200 導入の目的・機能や、フロント・リアパネルについて紹介します。

第2章 ハードウェア セットアップ: CL-1200 のセットアップ方法について説明します。

第3章 基本操作: CL-1200 の操作について説明します。

付録 マニュアル末尾には CL-1200 についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめられています。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl],[Alt],[Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行って下さい。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。



矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

製品概要

master view™MAX CL-1200slideaway™ コンソールは、15 インチ/17 インチ LCD パネル・フルキーボード・タッチパッドを搭載し、1U サイズでラックマウントを実現した KVM コンソールです。これは絶大な人気を博した CS-1208AL/CS-1216AL のコンソール機能を受け継いで開発された製品です。CS-1208AL/CS-1216AL はフロントモジュール ; slideaway™ KVM コンソール、リアモジュール ; KVM スイッチモジュールという 2 つのモジュールから構成されています。

従来 master view™KVM スイッチをご使用になっていたユーザーが CL-1200 を導入すれば、新たに別の KVM スイッチモジュールを購入することなく、省スペースで便利な CS-1208AL/CS-1216ALslideaway™と同等のコンソール機能を手に入れることができます。

セットアップも手早く簡単にできます。必要手順は KVM コネクタ ケーブルを CL-1200 のコンソールポートに差し込むだけで、すぐにお使いになれます※。

利便性向上のため、CL-1200 はさらに外部コンソール(キーボード、マウス、モニタ)の接続が可能になりました。

※ CL-1200 は PS/2 でコンソールを接続するほとんどの KVM スイッチに対応しています。お使いの KVM スイッチが対応しているかどうかについては、製品をお買い上げになった販売店か ATEN カスタマーサービスまでご連絡ください。

製品特長

- ◆ コンパクトにまとめられた 15 インチ/17 インチ LCD モニタ付 KVM slideaway™ スイッチ
- ◆ 高さ 1U サイズ以下の slideaway™設計ラック内部でのスムーズな取り扱いを生む上下の空間
- ◆ 外部コンソール(PS/2 接続のキーボード・マウスおよび HDB-15 接続のモニタ)が接続可能
- ◆ VGA 解像度ー最大 1,024 × 768 (15 インチ LCD)、1,280 × 1,024 (17 インチ LCD) ; DDC、DDC2、DDC2B 準拠
- ◆ マルチプラットフォーム対応
 - Windows95 以降
 - Linux Redhat 6.0 以降/Mandrake 9.0 以降/SUSE 8.2 以降/
 - FreeBSD 3.51 以降
 - Netware 5.0 以降
 - OS/2 2.0 以降
 - AIX 4.3 以降
 - DOS 6.2 以降

必要ハードウェア環境

コンピュータ

◆ CL-1200 は PS/2 でコンソールを接続するほとんどの KVM スイッチに対応しています。お使いの KVM スイッチが対応しているかどうかについては、製品をお買い上げになった販売店または ATEN カスタマーサービスまでご連絡ください。

ATEN カスタマーサービス TEL:03-5323-7178

◆ LCD モニタの最大解像度はそれぞれ 1,024×768(15 インチ LCD)、1,280×1,024(17 インチ LCD)となっています。コンピュータの解像度が LCD の最大解像度を超えないように設定してください。

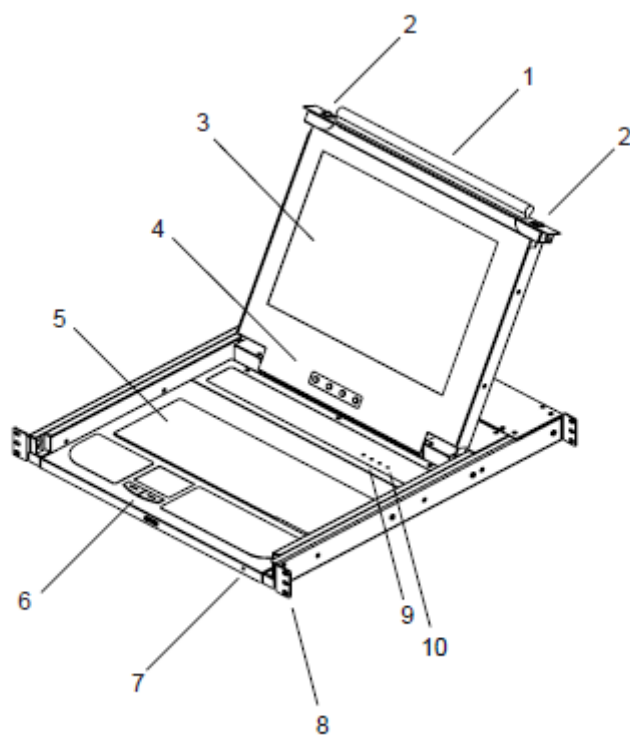
ケーブル

通信データの品質を損なわないためにも、ATEN の高品質 CS カスタム KVM ケーブルを使用されることを強く推奨します。下表に接続可能なケーブル型番をまとめてありますので、ご使用環境に合わせて販売店までお問い合わせください。

ケーブル長さ	製品型番
1.2m	2L-5201P
1.8m	2L-5202P
3.0m	2L-5203P
6.0m	2L-5206P

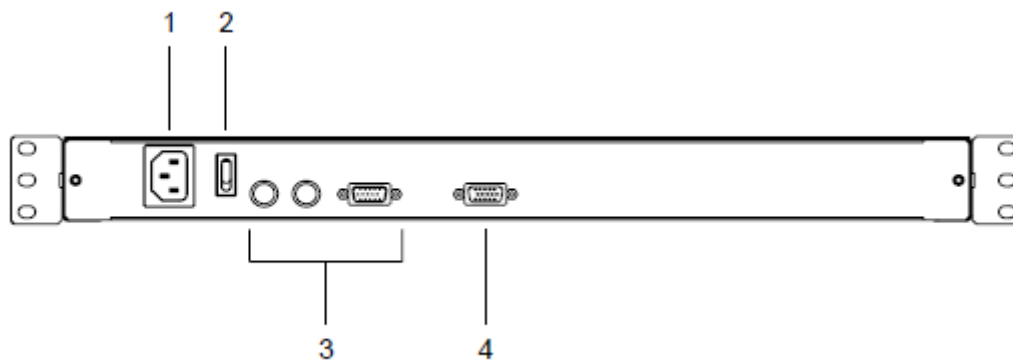
製品各部説明

CL-1200 フロントビュー



1. ハンドル	使用時は KVM モジュールをスライドさせて引き出し、終了時はモジュールをスライドさせて中に入れてください。
2. スライド固定スイッチ	ユニットをラックから引き出す場合、最初にこのスイッチを内側にずらしてください。ラックからの引き出し・収納については P.15 をご参照ください。
3. LCD ディスプレイ	KVM モジュールをスライドさせて引き出した後、LCD モニタ、キーボードおよびタッチパッドが使用できるよう、カバーを開けてください。
4. LCD コントロール	LCD のオン/オフスイッチは LCD の画面位置および画質設定のボタンに並んで設置されています。詳細は P.17 をご参照ください。
5. キーボード	
6. タッチパッド	
7. 電源 LED	ブルーLED が点灯しているときは、ユニットが電源供給を受けていることを示しています。
8. ラックマウントタブ	ラックマウントタブはユニットの四隅に設けられていて、システムラックへしっかりと固定できるようになっています。マウント作業の詳細については P.20 をご参照ください。
9. ロック LED	Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock のステータスを表示します。
10. リセットスイッチ	ロック LED の右側にあります。ピンホール型のスイッチで、システムリセットに使用します。

CL-1200 リアビュー



1. 電源ソケット	3 極 AC 電源ソケットです。
2. 電源スイッチ	ロッカースイッチです。ユニットの電源オン/オフに使用します。
3. 外部コンソールセクション	システムの柔軟性と利便性向上のため、CL-1200 は独立した外部コンソールを接続可能です。外部コンソールを使用する際はケーブルをここに接続してください。詳細については P.13 をご参照ください。
4. KVM ポート	CL-1200 に接続する KVM スイッチからのケーブルはここに接続します。 注意: 専用に設計された 15 ピンコネクタを持つ KVM ケーブルのみを接続することができます。詳細は P.9 のケーブルの項をご参照ください。

第 2 章

ハードウェア セットアップ

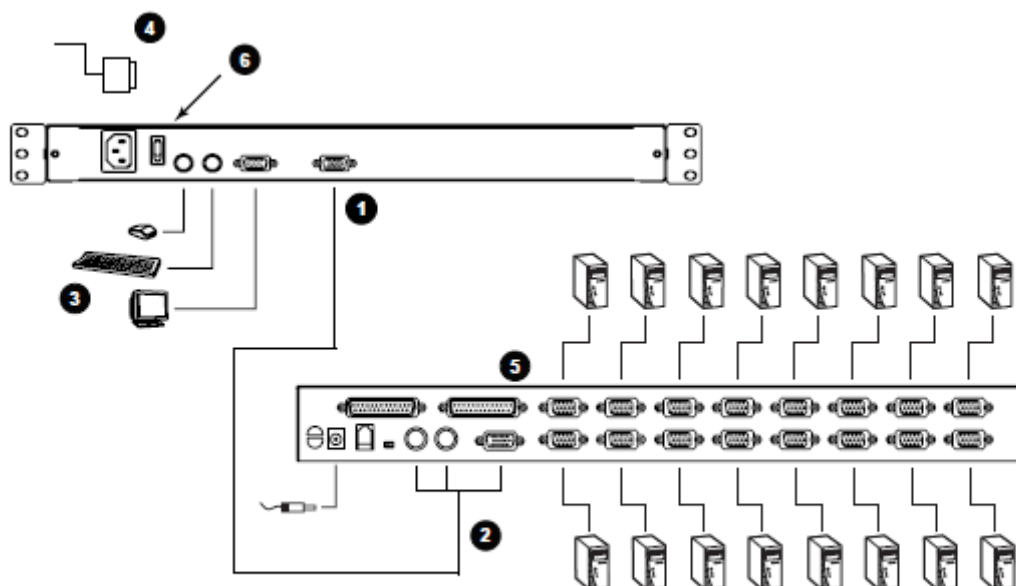
セットアップの前に



1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認して下さい。もし起動機能がついているキーボードをご使用の場合は、電源コードを抜いてください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされているか確認して下さい。

次ページに CL-1200 接続例を記載してありますので、図を参考にしながら以下の手順に従ってセットアップ作業を進めてください。

1. KVM ケーブルの 15 ピンコネクタを CL-1200 リアパネルの KVM ポートに接続してください。
2. CL-1200 に接続した KVM ケーブルのキーボード・モニタ・マウスの各コネクタを、ご使用の KVM スイッチコンソールセクションの適切なポートに接続してください。
3. 外部コンソールをご使用になる場合は、接続するキーボード・モニタ・マウスの各ケーブルを CL-1200 リアパネル 外部コンソールポートに接続してください。各ポートは PC99 準拠のカラーリングが施されています。
4. 電源ケーブルを CL-1200 の電源ソケットに接続した後、AC 電源コンセントに接続してください。
5. KVM スイッチの電源をオンにしてください。
6. CL-1200 の電源をオンにしてください。



注意：

この接続例は CL-1200 と ACS-1216A KVM スイッチを接続した場合ですが、CL-1200 は PS/2 接続をするほとんどの ATEN KVM スイッチと接続可能です。別の機種を接続する場合は、KVM スイッチのコンソールポートは別の場所に位置している可能性があります。詳細はお使いの KVM スイッチ付属の説明書をご参照ください。

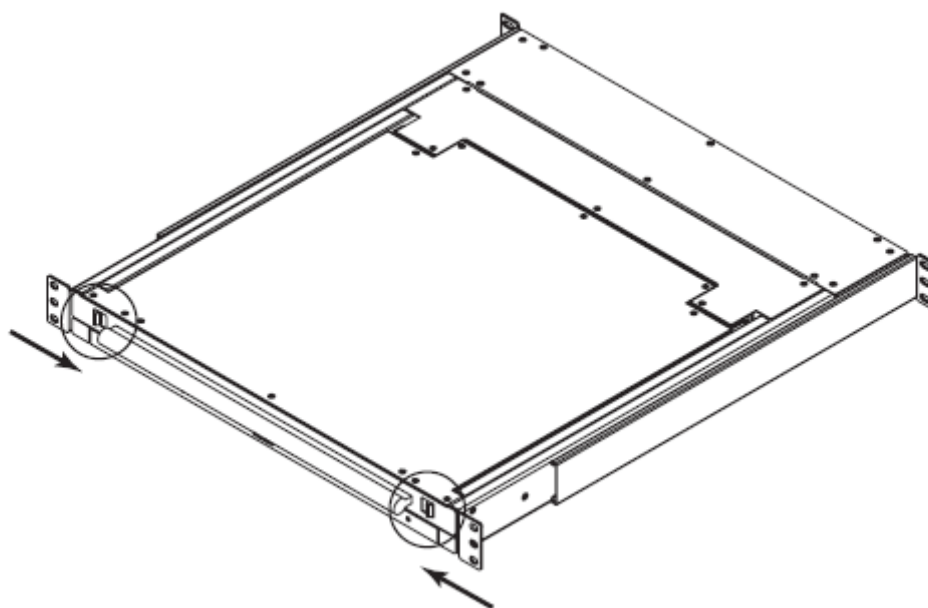
第3章 基本操作

コンソールの引き出し

CL-1200 コンソールはラック内収納時カバーが閉じた状態になっています。コンソールを使用する際は、まずコンソール本体をラックから引き出してカバーを開けます。

注意：

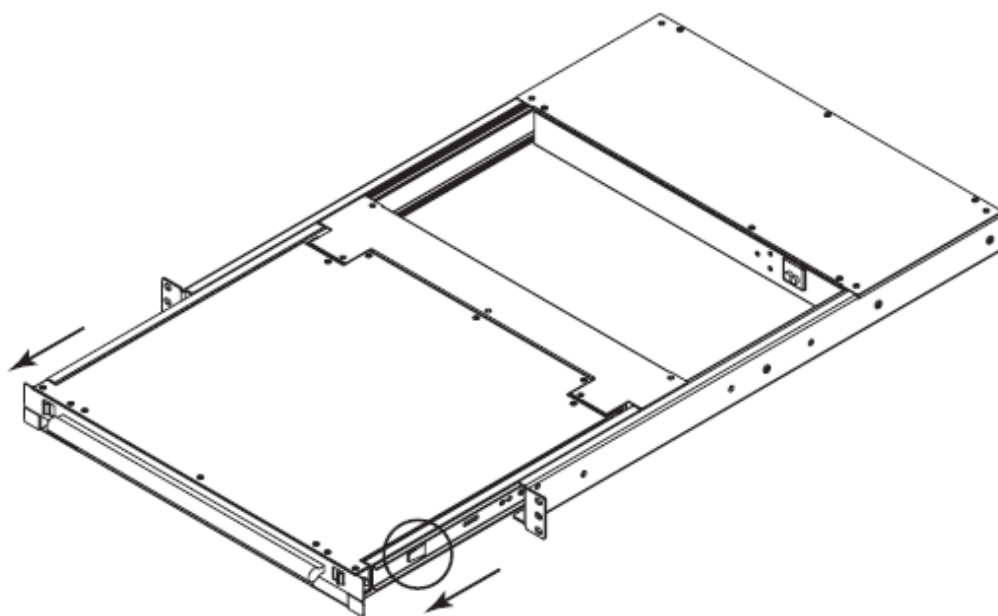
安全のために、コンソールは収納時にラックから滑り出さないようロックがされています。コンソールを引き出すには、まずスライド固定スイッチ（P.10、11 参照）を内側に移動させてください。



コンソールの収納

コンソールをラック内に収納するには、カバーを閉じた後に、以下の手順に従って作業を行ってください。

1. ユニット両側面のスライドレールには、収納時の誤操作で指を挟む事故を防ぐために、セーフティロック(白いプラスチック製)がついています。セーフティロックの位置は上部カバーの両サイドに印字されています。まず両手で本体手前の両側角を保持し、セーフティロックを指で手前に引っ張り、ロックを外してください。ロックが外れると「カチッ」という音がします。
2. ロックが外れたのを確認したら、本体を軽く手前に引き出した後(5cm 程度)、セーフティロックから指を離します。それから静かに押してラックに収納してください。



注意:

スライドレールに指を挟んでしまう事故を防ぐために、収納作業を2段階にしています。

LCD OSD 設定

LCD ボタン

LCD OSD で LCD ディスプレイの設定を行います。設定に使用する四つのボタンの説明は下表をご参照ください。

ボタン	機能
MENU	◆ このボタンを押すことでメニュー画面が起動し、メインメニューが表示されます。 ◆ メインメニュー中で項目が選択されているときにこのボタンを押すと、設定画面が表示されます。
	メニュー画面中でこのボタンを押すと、右または上に移動します。設定画面中では、設定値を増加させます。
	メニュー画面中でこのボタンを押すと、左または下に移動します。設定画面中では、設定値を減少させます。
EXIT	◆ LCD OSD メニュー画面が表示されていないときにこのボタンを押すと、画面の自動調整を行います。自動調整機能は LCD ディスプレイに関するすべての設定を自動で最適化します。 ◆ LCD OSD メニュー画面中でこのボタンを押すと現在のメニュー画面を閉じ、ひとつ前のメニューに戻ります。設定画面において設定が完了したら、このボタンを押すと設定が保存され、前のメニューに戻ります。 ◆ メインメニュー画面でこのボタンを押すと LCD OSD を終了します。

LCD 調整

LCD 調整の各設定についての詳細は下表をご参照ください。

設定	説明
Brightness	バックグラウンドの黒レベルを調整します。
Contrast	画面のコントラスト(ホワイトレベル)を調整します。
Phase	画面の垂直方向サイズを調整します。
Clock	画面の水平方向サイズを調整します。
H-Position	LCD パネルのディスプレイ表示エリアの水平方向位置を調整します。
V-Position	LCD パネルのディスプレイ表示エリアの垂直方向位置を調整します。
Color Temperature	ディスプレイの色あいを調整します。色温度、色バランス、その他を調整できます。Adjust Color では RGB 値を調整できます。
Language	OSD 画面の表示言語を選択します。
OSD Duration	OSD 画面がディスプレイに表示されている時間を設定します。ここで時間を設定しないと、OSD 画面は自動的に消えます。
Reset	すべての設定変更をリセットし、工場出荷時の設定に戻します。

コンソール選択

CL-1200 のコンソール選択はホットキーで行います。

ホットキー組み合わせ	機能
[Ctrl], [Alt], [L], [Enter]	ローカルコンソール (LCD) を有効にし、外部コンソール (外部) を無効にします。
[Ctrl], [Alt], [R], [Enter]	ローカルコンソールを無効にし、外部コンソールを有効にします。
[Ctrl], [Alt], [L], [R], [Enter]	ローカル・外部ともに有効にします (デフォルト)。

注意:

- 1) ホットキーは順番に押してください。
- 2) コンソール選択の状態は保存されません。スイッチの電源をオフにすると、次回起動したときにはデフォルトの状態 (ローカル、リモートともに有効) に戻ります。
- 3) CL-1200 に接続されている KVM スイッチで、[Ctrl], [Alt], [Shift] の組み合わせでホットキーモードを有効にするものがあつた場合、[Ctrl], [Alt], [Shift] の入力は CL-1200 側に対して行われるので、その先に接続された KVM スイッチに対しては無効となります。

ポート ID 番号およびポート選択

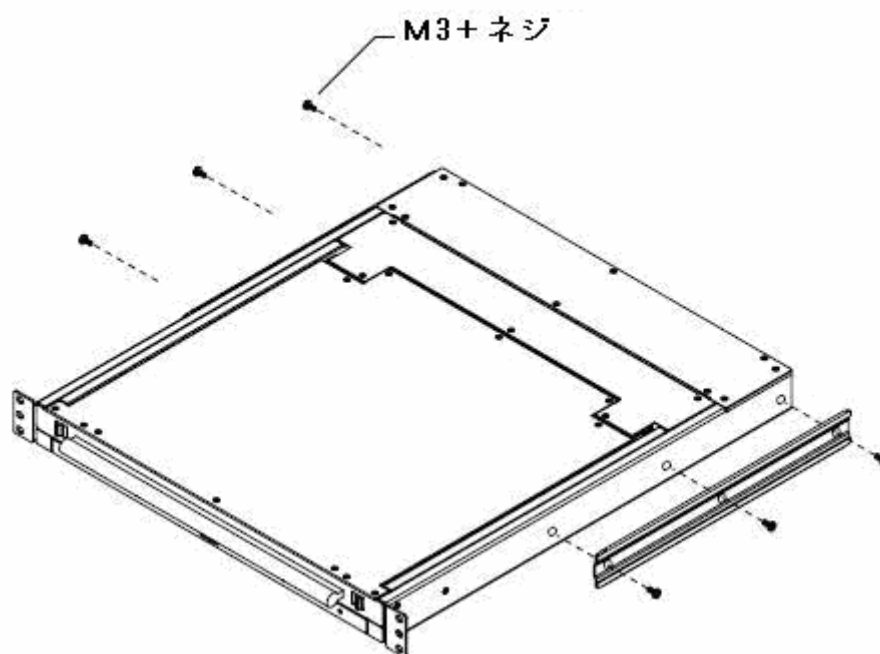
ポート ID 番号およびポート選択については、CL-1200 に接続されている KVM スイッチの機能に従います。詳細はお使いの KVM スイッチのユーザーマニュアルをご参照ください。

ラックマウント

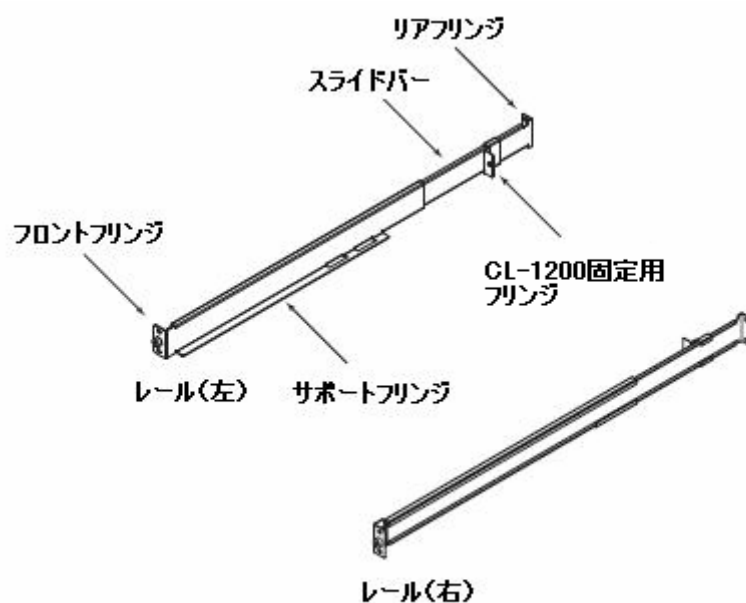
○イージーセットアップラックマウントキット—ショート

イージーセットアップラックマウントキットは、一人でマウント作業ができるように設計されたものです。イージーセットアップキットを使用してのラックマウントは、以下の手順に従って作業を進めてください。

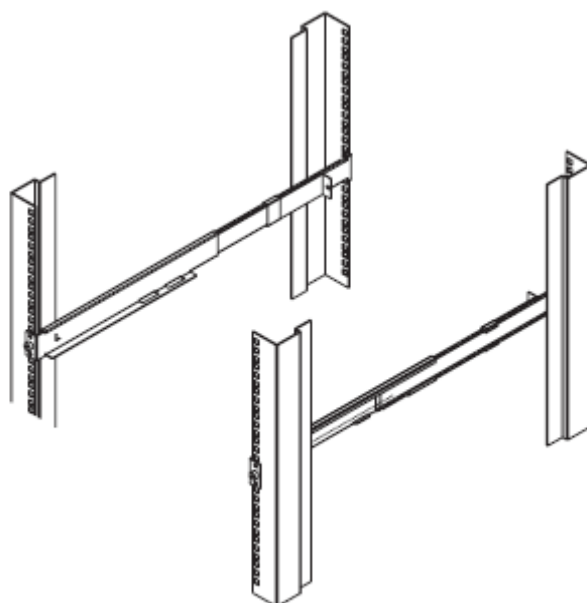
1. スタンダードラックマウントキットの L 字型金具を取り外し、さらに本体側面についているスライドレールを取り外してください。



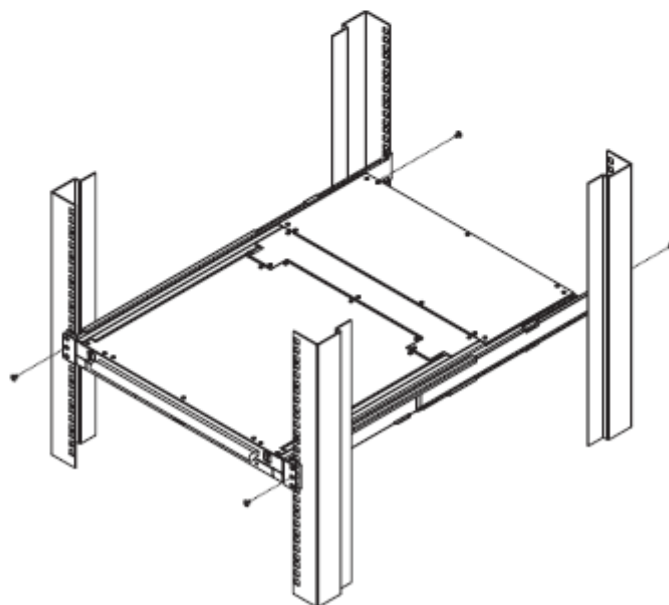
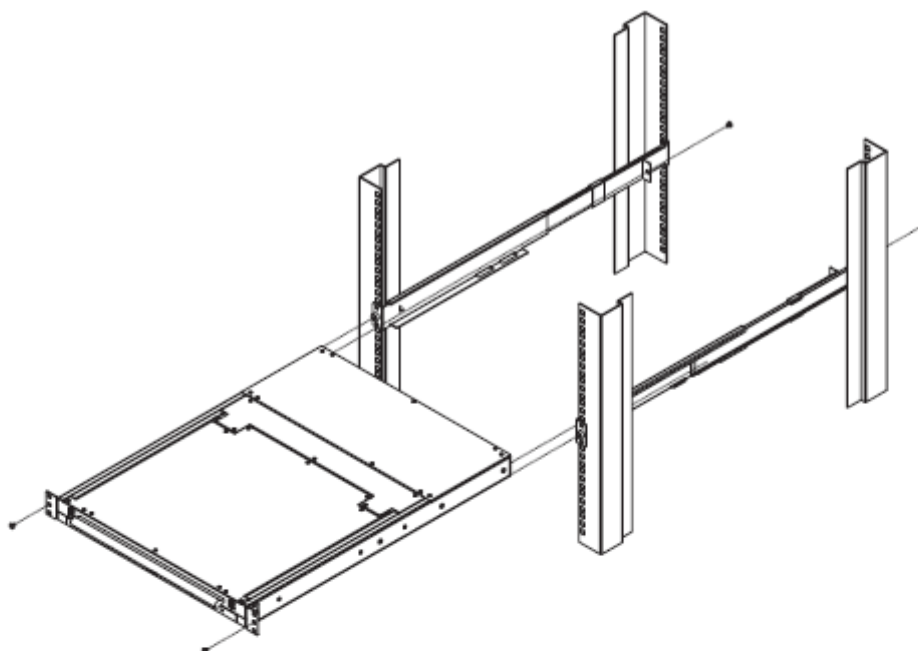
2. イージーセットアップキットのレール 2 本(左右)をラックの内側に先に取り付けておきます。レールについているスイッチ固定用のフリンジがラックの内側になるよう、向きを確かめてから取り付けてください。



- a) 最初にフロントフリンジをラックにネジ止めします。
- b) スライドバーをラック奥に届くまで延ばしたら、リアフリンジをラックへネジ止めします。



3. CL-1200 をサポート用フリンジに乗せながらスライドさせてラック内に収納し、CL-1200 本体前面にあるフリンジとレールをネジ止めします。
4. CL-1200 固定用フリンジを CL-1200 側に接触するまでスライドさせて、スイッチ背面にネジ止めします。



製品仕様

機能		CL-1200	
コンピュータ接続数		1	
外部コンソールコネクタ	キーボード	ミニ DIN 6 ピン メス	× 1
	マウス	ミニ DIN 6 ピン メス	× 1
	モニタ	HDB-15 オス	× 1
コンピュータ側コネクタ		SPHD-15 メス	× 1
電源		3 極 AC 電源ソケット	× 1
スイッチ	LCD 調整	プッシュボタン	× 4
	リセット	ピンホール型	× 1
	電源	ロッカースイッチ	× 1
LED	Num Lock	グリーン	× 1
	Caps Lock	グリーン	× 1
	Scroll Lock	グリーン	× 1
	電源	ブルー	× 1
VGA 解像度		15"LCD CL-1200L: 最大 1,024 × 768 17"LCD CL-1200M: 最大 1,280 × 1,024 DDC2B 準拠	
キーボード/マウス エミュレーション		PS/2	
電源仕様		100V~240V 50Hz/60Hz	
消費電力(100V)		15"LCD CL-1200L: 22.5W 17"LCD CL-1200M: 31.3W	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		15"LCD CL-1200L: 13.4kg 17"LCD CL-1200M: 14.4kg	
サイズ (W×D×H)		480 × 520 × 42 mm	

トラブルシューティング

症状	対処
外部コンソールのモニタにゴーストが出ます。	CL-1200 と外部コンソールの距離が遠すぎるのが原因だと思われます。外部コンソールまでの距離は最大 5m、またご使用の環境によってはさらに短くなることがあります。VGA ケーブルの長さを短くしてみてください。
KVM スイッチに対してホットキー操作を行ったが、実行できない。	CL-1200 が [Ctrl], [Alt], [Shift] の組み合わせでホットキーモードを有効にする KVM スイッチと接続されている場合は、この入力でホットキーモードを使用できません。原因は、CL-1200 がこの入力をホットキー入力として受け取ってしまい、その先に接続されている KVM スイッチにコマンドが送られないためです。解決するには、KVM スイッチのホットキー組み合わせを変更しなければなりません。詳細はお使いの KVM スイッチ ユーザーマニュアルをご参照ください。

製品保証規定

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品の販売店は、製品および本ドキュメントの使用に関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる表示・保証も行いません。

弊社は製品および付属のソフトウェア・ドキュメントについて、予告なしに改良・改訂を行う権利を有します。詳細については販売店までお問い合わせください。